

WOMEN'S JAPAN BASKETBALL LEAGUE

2021-2022

第23回 Wリーグ レギュラーシーズン



つなげ。ボールを、感動を。

Women's Japan Basketball League

女子バスケットボール国内トップリーグ

Wリーグ のご紹介

一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ



INTRODUCTION

Wリーグってご存じですか？

わたしたちは世界を目指す 日本国内最高峰の女子バスケットボールリーグです。

We're a women's basketball league
in the highest level in Japan aiming at the world.



ご挨拶

一般社団法人
バスケットボール女子日本リーグ

会長 河瀬 直美

多くのアスリートは生涯現役として、その場に立ち続けることは肉体的にできません。でも、`人生の金メダリスト、になることはできると思います。スポーツを通して、肉体も、そして精神も磨かれて、地域に貢献し多くの人を励ますことができる。そんな人生の金メダリストをWリーグから育成されていくことを願っています。そのための下支えをし、後押しをしますが、輝くのは選手そのもの。その人たちを世界につないでいけるように、世界へ導けるように、私自身も務めを果たしていきたいと思っています。

Wリーグをこれまで以上に盛り上げ、バスケットボールの魅力を普及し、選手たちが輝く姿を多くの人々に観戦してもらえる楽しさと歓びを分かち合っていきたいと思っています。



東京2020オリンピックで躍動！ 日本の女子バスケットボールは世界トップレベル



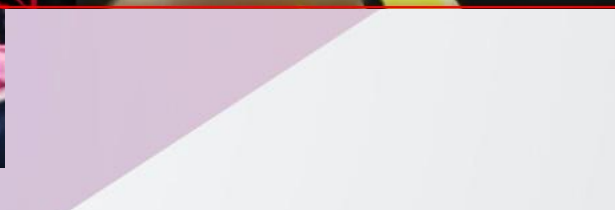
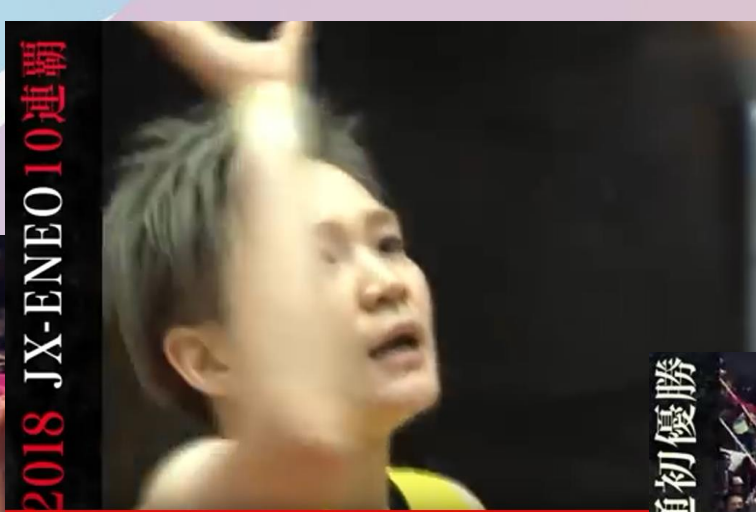
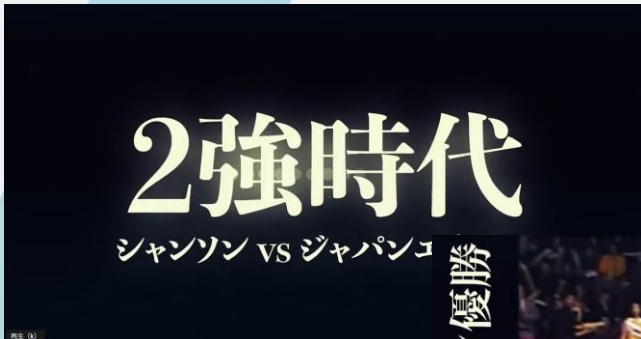
5人制 銀メダル
3人制 5位入賞



3年後のパリ五輪2024では**金メダル**を目指します

リーグ創設以来23周年

これまでの歴史と伝統が日本女子バスケの礎です。



1967年に日本バスケットボール協会(JBA)が主催した「バスケットボール日本リーグ」の女子の部として設立されたのが前身で、その後今日まで、国内最高峰のリーグとして、多くの優秀なプレイヤーを輩出してきました。

「女子バスケットボール競技」の普及と強化

● Wリーグの目的

女子バスケットボールをより広く国民に 《普及》 させること。
選手の技術向上、チーム 《強化》 に努め、内外にアピールすること



左記目的に基づき、
日本全国各地にて試合を開催

Wリーグは各チームのホームタウン以外でも数多く試合を実施し、
国内トッププレーの観戦機会を創出することで競技の普及に努めています。

しかしながら、ここ2シーズンは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての試合をリーグ主管とし、PBAでの主管による全国での開催を断念しました。



バスケットボール界の中のWリーグ



FIBA
国際バスケットボール連盟

FIBA ASIA
アジアバスケットボール連盟

JBA
公益財団法人
日本バスケットボール協会



B.LEAGUE
公益社団法人
ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ

2016年10月発足



- 都道府県協会
- 日本実業団連盟
- 全日本教員連盟
- 日本クラブ連盟
- 日本家庭婦人連盟
- 全日本大学連盟
- 全国専門学校連盟
- 全国高体連専門部
- 全国中学生連盟
- 日本ミニ連盟

一般社団法人
日本社会人バスケットボール連盟

WJBLの主催するWリーグは、日本女子バスケットボール界のトップリーグとしての位置づけです。

日本女子バスケットボール界とWリーグ



TOP リーグ

Wリーグ ・ Bリーグ

競技登録者数
(2021年3月現在)

| | |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------|
| Wリーグ | 女子: 178人 ※女子競技者の 0.08% |
| 一般 (大学・専門学校・O40他) | 女子: 13,197人 男子: 31,140人 |
| U18 高校生 | 女子: 49,832人 男子: 78,027人 |
| U15 中学生 | 女子: 81,266人 男子: 105,229人 |
| U12 小学生 (ミニバスケット) | 女子: 64,957人 男子: 70,101人 |
| | 女子計: 209,430人 男子計: 284,497人 総合計: 493,927人 |

20万人を超える
女子の登録者数は
この競技の大きな強み。



2021年度・参加チーム

| | | | |
|---------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| ENEOS Sunflowers ENEOS | Koalas 三菱電機 | ANTELOPES トヨタ自動車 | DENSO Iris デンソー |
| Sunshine Rabbits トヨタ紡織 | Vickies 東京羽田(クラブ) | Red Wave 富士通 | CHANSON V-MAGIC シャンソン化粧品 |
| Cougars 日立ハイテク | Wings アイシンAW | Yamanashi QB 山梨QB (クラブ) | Rabbits 新潟(クラブ) |
| Aranmare アランマーレ秋田 | 計 13チーム (内企業 9チーム、クラブ 4チーム) | | |

選手派遣



日本代表カテゴリー (男・女共通)
日本バスケットボール協会 主幹

- 日本代表
- ユニバーシアード
- U-19
- U-18
- U-17
- U-16

Wリーグの主なスター選手



高田 真希 (デンソー)
日本代表選手。渡嘉敷とともに日本のセンター陣を牽引する大黒柱的存在。



町田 瑠唯 (富士通)
東京五輪ではアシストの五輪記録を達成。この春にはアメリカWNBAにも挑戦する日本の顔。



馬瓜エブリン (トヨタ自動車)
妹のステファニーとともに日本代表。明るいキャラクターでコート内外で大活躍。テレビでも人気のキャラクターを誇る。



渡嘉敷来夢 (ENEOS)
リーグ最長身。東京五輪出場は果たせずも完全復活した日本バスケット界の至宝。



赤穂ひまわり姉妹 (デンソー)
姉妹ともに日本代表で活躍。五連覇を果たしたアジアカップではMVP。父親・弟もバスケット選手のサラブレッド。



林 咲季 (ENEOS)
東京五輪のメダルを引き寄せた伝説の「林のスリー」は日本中を熱狂。日本代表の新チームではキャプテン就任。



オコエ桃仁花 (富士通)
東京五輪でブレイクしたニュースター。東北楽天イーグルスオコエ瑠偉選手の実妹



知名 裕理 (シャンソン)
アイドル並みのルックスを誇り韓国・台湾にもファンが存在。オールスターにも選出。



東京2020五輪後はTVジャックで国民的人気者に



23rd Season Overview

TOPICS

Women's Japan Basketball League

Wリーグの現在地

第23回 Wリーグ の掲げるテーマ



テーマ

「つなげ。ボールを、感動を。」

バスケットボール界史上初の金字塔を打ち立てた東京2020五輪。
テレビやインターネットを通じて、日本に感動を届けました。

しかし、東京2020五輪は無観客開催。
ご声援いただいた感謝をお伝えするために
奮闘した選手たちへ沢山の拍手を送っていただくために

そして、この感動を一過性のものではなく
もっともっと大きなうねりとしていくために、
2024年のパリへ、その先の未来へつなげていくために
Wリーグがさらなる興奮と感動を日本中に届けます！

シーズン スケジュール



2021年 9月 10月 11月 12月 2022年 1月 2月 3月 4月 5月



バスケットのシーズンは「秋春制」

その間選手は「日本代表」と「所属チーム」の両方で活動いたします。



今年のチャレンジ①

史上初 10,000人収容アリーナでの開催

東京2020五輪は残念ながら無観客。

たくさんのお客様に観てほしい

たくさんのお客の前でプレーさせたい。

その環境はリーグが創りたい。

2022年 4月16日(土)～18日(月)
プレーオフファイナルは
国立代々木第一体育館で開催!

その目に焼き付けろ。

Denka presents W LEAGUE PLAYOFFS 2021-2022

第23回 2021-2022 W LEAGUE PLAYOFFS

| | | | |
|-------------------|------------|----------------|-----------------|
| セミクォーターファイナル | クォーターファイナル | セミファイナル | ファイナル |
| 2022 4.2 SAT | 4.3 SUN | 4.9 SAT・11 MON | 4.16 SAT・18 MON |
| トクセイセキュリティ平塚総合体育館 | | 国立代々木競技場第二体育館 | 国立代々木競技場第一体育館 |

世界に誇る日本一を、

リーグ発足以来、入場者数の最高記録を達成
1日目 5,855人 2日目 **7,151人**



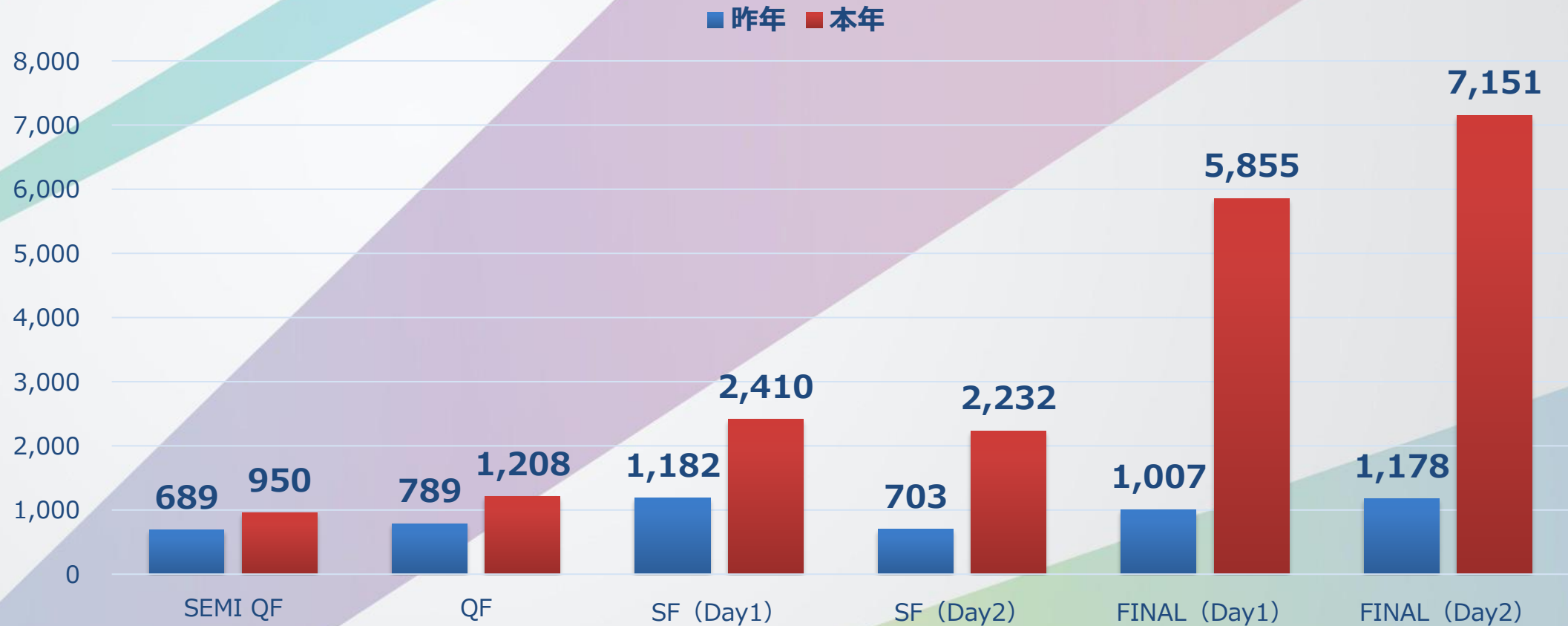
「銀メダル特需」ではなく次年度以降も継続的に上記状態を維持向上することが課題。

入場者数推移

※ 第22回大会プレーオフ同士の比較



プレーオフ入場者数 前年比較



昨シーズンは50%制限下での開催でしたが本年は収容数100%での開催により前年比は大幅に向上

今年のチャレンジ②

競技を超えて、 東京2020五輪での縁を



東京2020五輪ではさまざまな競技との
出会いがありました。

女性アスリート同士の異競技交流を行い、
その輪を広げます。

2022年 5月4日（祝）～5日（祝）
女子アスリート大集結
Wリーグオールスターは
国立代々木第二体育館で開催！

競技を超えて女子アスリートオリンピックが集結 バスケットボールを通じて交流を深めました。



東京2020五輪金メダル
入江聖奈 選手



北京冬季五輪銀メダル
高木菜々さん



8競技9名のオリンピックが一堂に会す



選手から直接の競技指導も



身長142cmの寺本明日香さんが優勝



体操日本代表
水鳥監督も来場

異競技の選手が全く別の競技にチャレンジする姿は多くのファンの方々の共感を得るとともに、国内の女子アスリートの活躍を多くの方々に周知できた非常に価値のあるイベントとなりました。(Day2は超満員完売)

来場者分析 ・ SNS

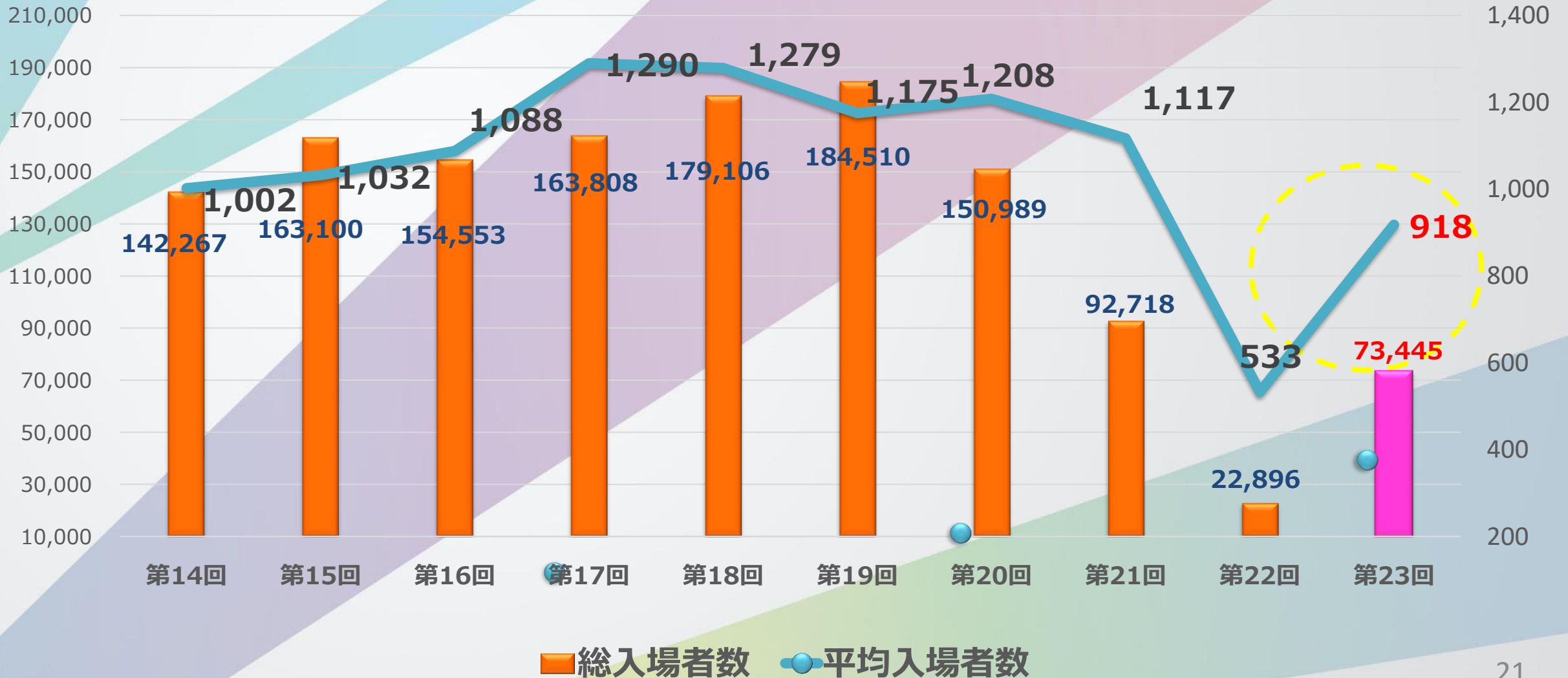
東京2020五輪をきっかけに、女子バスケットを知っていただき
たくさんのお客様が各地のアリーナに足を運んでくださいました。



入場者数推移

※第23回大会（2021-22 Season）

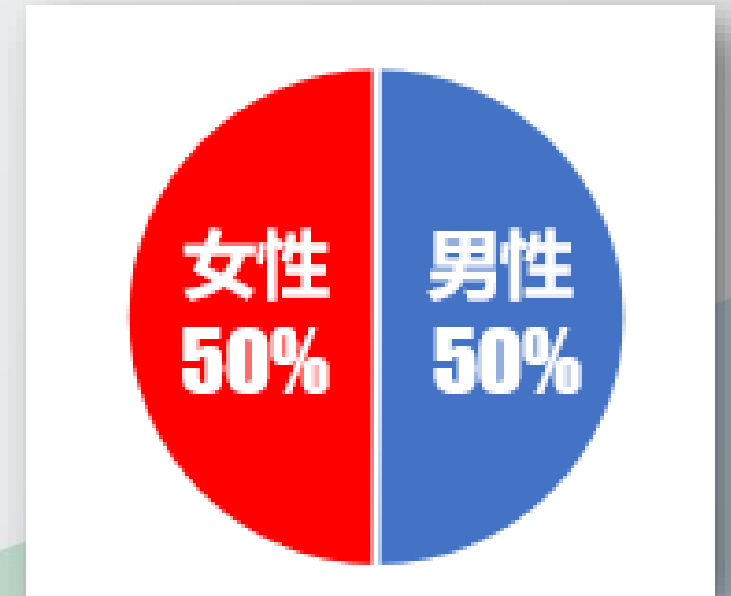
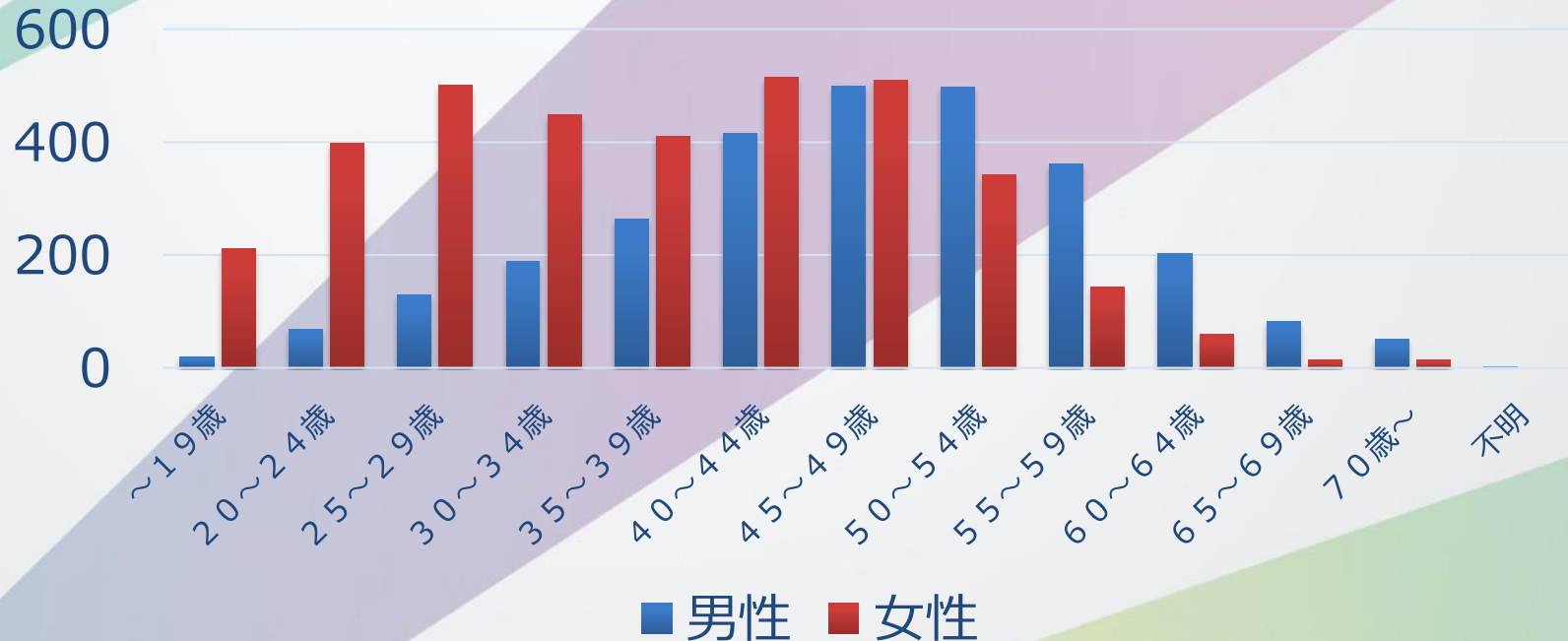
新型コロナウイルス感染対策により序盤は「50%の観客制限」を実施。
14/70の興行が**完売**。
五輪特需の機会損失はあったものの昨年の状況よりは好転。
従来の観客数が戻りつつある傾向。



来場者

Wリーグにご来場くださるお客様の男女比は「ほぼ同じ」
 「若年層女性」と「中高年男性」がコア
 選手をロールモデルとして憧れる女性観客層を育てていきたい。

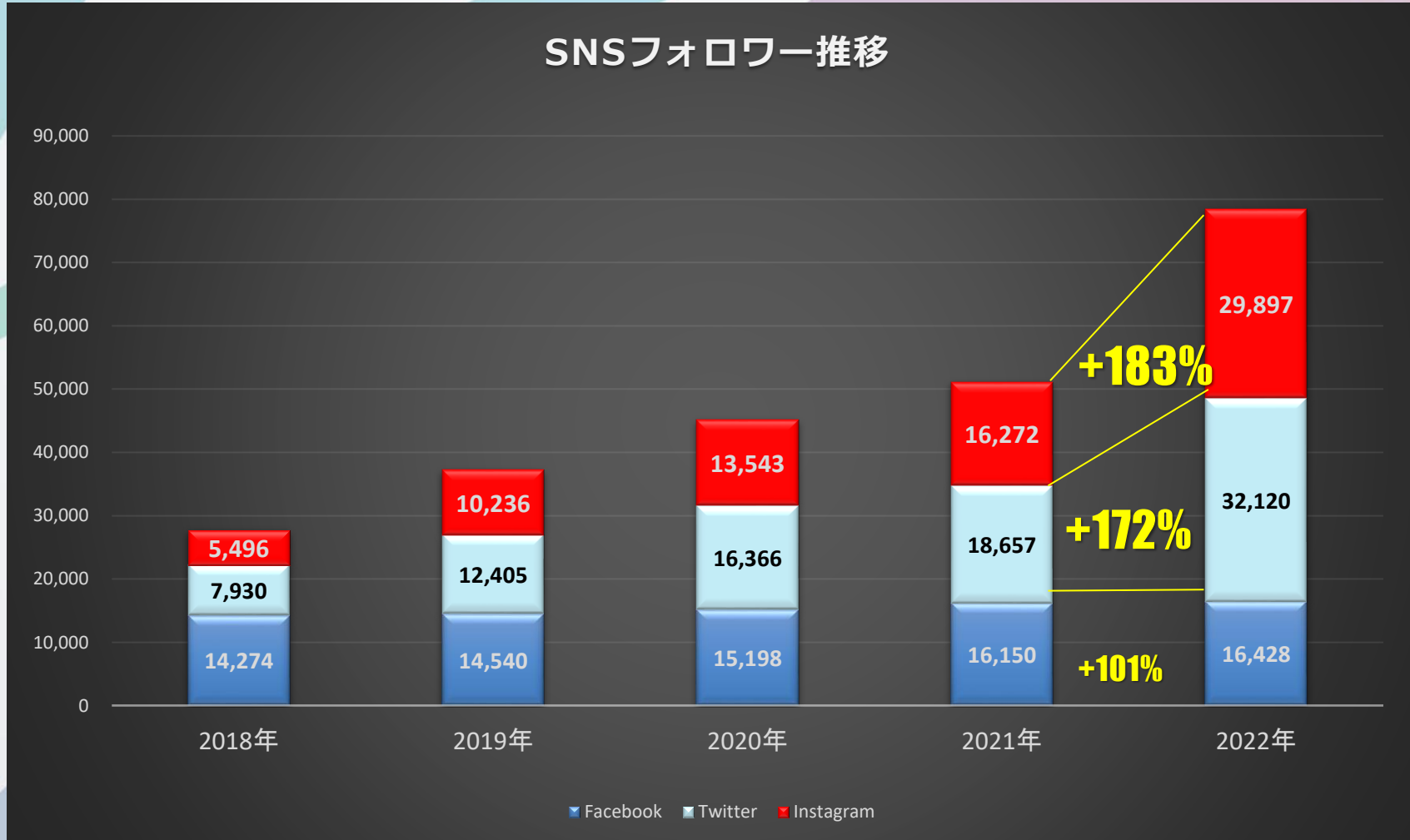
Wリーグの来場者属性



SNS

東京2020五輪を機に飛躍的に増加

SNSフォロワー推移



TOTAL

+ 154%



Instagram
(2017年9月26日開設)



Twitter
(2017年9月4日開設)



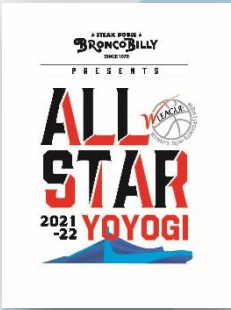
Facebook
(2011年開設)

選手とリーグによる自発的な社会への取り組み（1）

“WeAreW” 笑顔にあふれた「国際女性デー」イベント

この2日間、来場者には国際女性デー特製クリアファイルとステッカーを配布され、会場内には、株式会社モルテンとの共同で製作した「コンセプトマグネティックボール」の展示ブースの設置。試合前には、バスケットボールという枠を超えて、多様なジャンルからゲストを招いてボールお披露目セレモニーを行いました。
また、選手たちは試合前の選手入場の際に、両チームの選手たちがミモザの花の色をあしらったTシャツを着用し入場。試合では、センターサークルが国際女性デーのデザイン仕様となったコートで熱戦を繰り広げました。

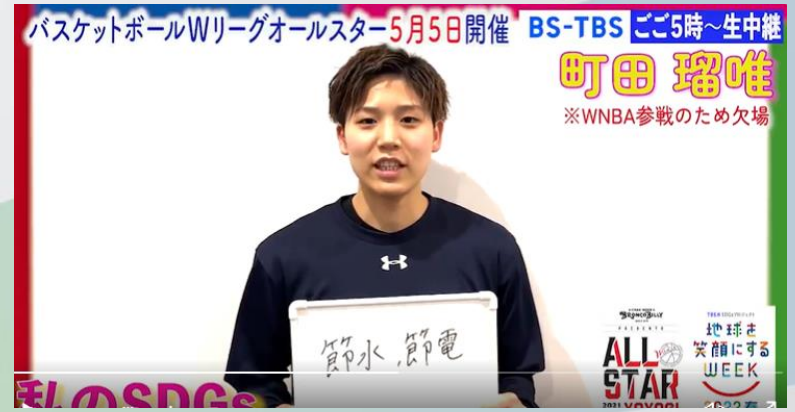




選手とリーグによる自発的な社会への取り組み（2）

「オールスター」のチーム名にちなみ「渋谷」「原宿」の早朝清掃活動を実施

オールスターの中継局であるBS-TBSとの協働によりオールスター選手全員が原宿・表参道、渋谷センター街に分かれて試合日の早朝に清掃活動を実施。SNSでも各選手が自身で自発的に実施しているのSDGs活動を連日紹介。



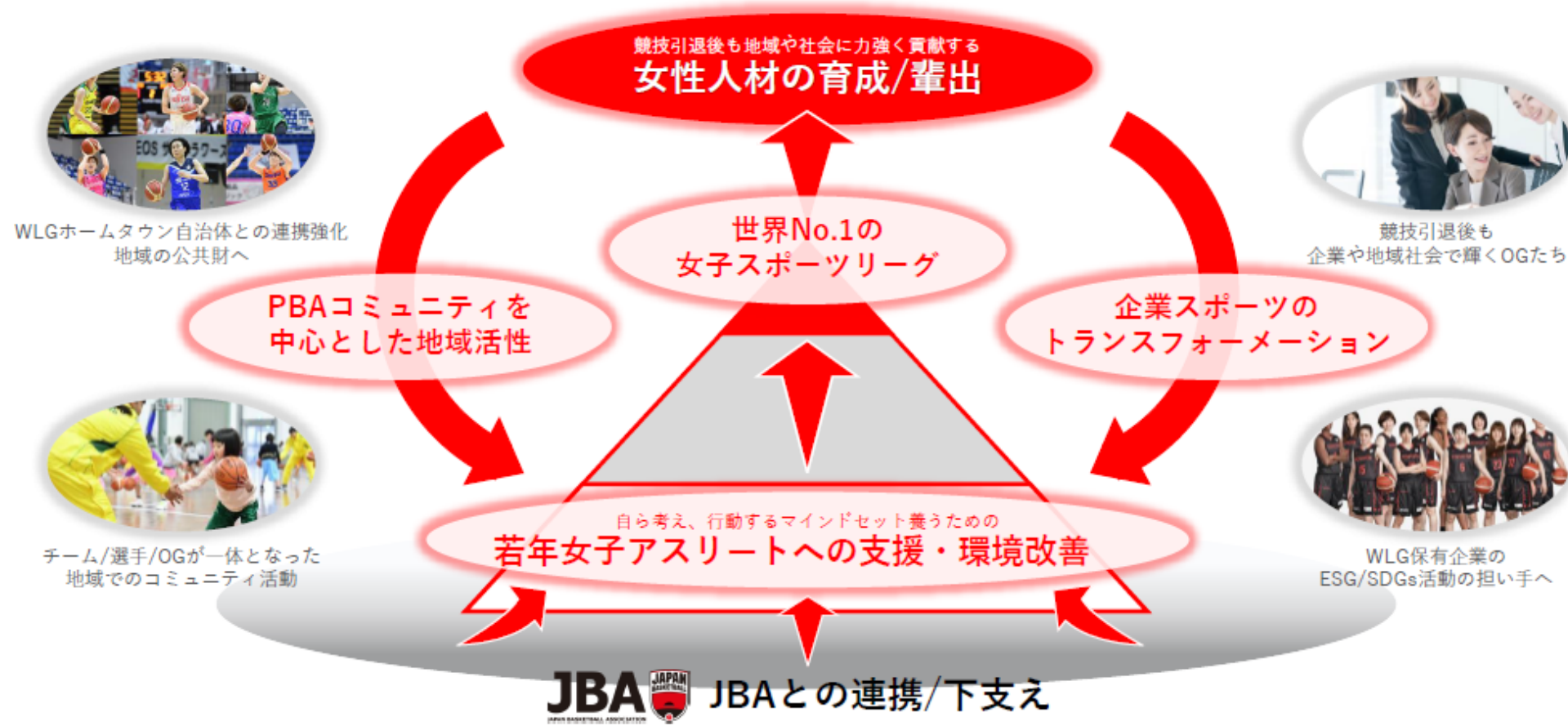
JBSに伴う 新ビジョンについて

2022年9月 FIBA女子ワールドカップ後に 対外的に発表 予定



WLGが作りたい5つの未来像(概念図)

WLGで育成/輩出した「女性人材」が地域や社会で輝き続ける「循環」をつくりだし、
バスケット界の理念である「バスケットで日本を元気に」を体現する。



ご清聴ありがとうございました

